

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」センター南校			
○保護者評価実施期間	2024年11月15日		～	2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	2024年11月15日		～	2024年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	通所支援と訪問支援から包括的にご利用者様をサポートできます。	訪問支援で見つけた課題に対して通所支援でアプローチしたり、通所支援で取り組んだ課題について訪問先の様子を確認したり、課題の調整や支援の見直しに役立てています。	PDCAを繰り返しながら、通所支援と訪問支援の相互作用を仕組みとしてブラッシュアップしていきたいと考えております。
2	個別療育を中心として小集団療育も組み合わせて、多面的にお子さんの支援ができます。	当事業所では個別療育を重視し、事業所の特色と考えております。一方で、集団療育の必要性も実感しておりますので、実生活(集団生活)の練習の場として、小集団療育も提供しております。	ご利用者様の様々なニーズにお応えできるように、療育のスケジュールや体制を整えてまいります。
3	お子様が通っている学校やその他関係機関との連携を深めています。	ご利用者様に寄り添えるよう定期的にお話を伺う機会を設けて、ご心配やお悩みを共有させて頂いております。様々な支援の在り方や地域資源の活用なども提案させていただいております。	より地域に根差した支援が行えるように、地域活動の参加や情報収集にも努めたいと考えております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご利用の希望が多く、ご利用をお待ちいただいている方もいらっしゃいます。	利用定員いっぱいまでご利用いただいておりますが、なかなかご利用の提案ができず歯がゆい思いしております。現在週5日の営業となっておりますので、人的な環境が整いましたら週6日の営業とさせていただき、より多くの方へ支援をお届けしたいと考えます。	人員配置強化のための採用活動と、職員の定着に努めてまいります。
2	地域に広く認知いただきつつありますが、より多くの方に認知いただき、もっと地域に根差した運営を心がけたいです。	多くの方にご利用いただき、訪問支援も提供しておりますので、周知活動になかなか出向くことができておりません。	SNSなどでの周知活動を強化して、当事業所について広く知って頂けるよう努力いたします。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 どもサポート教室「きらり」センター南校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 30名

回収数 22名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2	0	0	・スペースは広くボール遊びなどでもできるように配慮されています。 ・とても広いわけではないが、落ち着いた活動するには十分だと思ふ。 ・活動的な時も環境を設定いただき、本人たちの満足につながるよう促していただいています。	安心してご利用いただけるよう配慮いたします。 お子様の状況や対応に合わせて環境を調整していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	3	0	0	十分に目が行き届く人員を配置してくださっている。	届け出通りの職員を配置しておりますが、これからも安心してご利用いただけるよう適切な人員配置を心がけます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	0	3	意識的に見たことがなかったため、どちらともいえない。	建物入口に段差がございます。 お子様の特性に合わせた空間設計を心がけておりますが、ご要望等ございましたら遠慮なくお声がけください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2	0	0	気になるものは見られないように工夫されている。	引き続き清潔で心地よい環境でお過ごしいただけるよう心がけます。特に就園前の小さなお子様には、口に含む可能性や誤飲につながるかなど、きめ細やかに配慮いたします。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1	0	0	・特性やその日の様子を見て支援をしていただきます。 ・親以上に子どものことを十分に理解してくださっている。 ・細かく対応頂き、本人の理解の助けとなっています。いつもありがとうございます。	将来的な自立を考えつつも、支援は日常生活に活かされてはじめて役に立つと考えております。より専門性を高めてお役に立てるよう努力いたします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	2	0	0	公表しているプログラムをあまり把握できていなかった。	今後弊所ホームページ上に公表いたします。公表されるプログラムは1例となりますが、ご利用者様お一人お一人に合わせた支援を提供させていただきます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	0	1	0	・本人の得意なこと、苦手なことを把握して作成されています。 ・十分です。	一人でも多くのご利用者様に満足いただけるようなご提案ができるよう努力いたします。計画については十分に説明いたしますので、ご不明点やご認識と異なる内容がございましたら、遠慮なくお知らせください。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	1	3	困りごとがあった時など、話を聞いてもらうだけでなく、解決に向け具体的に動いてくださりとても心強い。	お子様に必要な支援が届けられるよう心がけておりますが、ご要望やご不明点などございましたらご教示いただけますようお願いいたします。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	1	0		支援を行う前に必ず計画を確認するよう心がけております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	0	・その日のコンディションに合わせて工夫してくださっている。 ・状態や発達段階に応じて対応頂いている、と感じています。	一部必要性がありプログラムを固定化することもありますが、できることが増えたり興味広がるように意識して支援を提供しております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	2	8	10	・不要です。 ・今のところなし ・不明	現在のところ実施しておりません。ご要望がございましたら検討いたします。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	0	0	0		丁寧な説明を心がけております。 変更があった場合は都度お知らせしております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1	1	2	日付を改ざんして交付していたことにするのやめた方がよいと思います。現状の成長を共有した上で、今後どのようなことを目標にしていこうか説明してほしい。ただ書面を渡すことが本来の目的	説明が不十分であったことを真摯に受け止め改善いたします。誤った認識から記載いただく日付を指定したことがあったことを確認しましたが、改ざんの事実はございませんでした。丁寧なご説明と正しい運営をお約束いたします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	3	9	・もしあったら嬉しいですが。 ・研修に参加したことがない→アナウンスを見逃していただけかも。	支援の都度お話を機会を設けておりますが、研修会という形では実施できておりませんが、企画、ご提案したいと思います。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2	0	2	・事業所での様子、学校での様子、家での様子など共有できています。 ・常に情報共有させてもらっている。	細かく情報共有やお困りごとなどをうかがえるよう、お話を機会を設けております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	3	0	0	・困りごとがあった時に助けてもらっている。	毎回支援の時間にお話を機会を設けておりますが、定期的に面談等でお話を機会を設定いただいております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	0	0	1	・利用日の終わりにはフィードバックの時間があり、毎回丁寧に支援して頂いています。 ・とても感じている。 ・共感いただき、負担を感じることが軽減されています。	共感的な態度を心がけて支援しております。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	4	3	8	6	不要です。	父母会については企画段階にありますので、近日常にご案内できる予定です。ご要望頂いた方のみでご参加いただけます。 ごきょうだい同士の交流については、ご要望等を伺ってから企画を決めていければと思っております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	0	0	2	・本人が悩んでいることなど共有した際に、すぐに面談の時間を作ってくれるなど適切に対応されています。 ・通所日以外もLINEを通じて相談を伝えられて助かっています。	ご相談などを迅速にお受けできるように心がけております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0	1		SNSやお電話などを組み合わせて、ご利用者様に合った連絡方法で情報伝達できるよう工夫しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	4	0	10		ホームページやSNSなどで活動内容をご紹介します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	3		当社の取り決めに従って、適切に個人情報を取り扱っております。個人情報同意書をご確認いただき、個人情報の取り扱いについて事前に説明しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	0	10		定期的な訓練を実施しておりますので、様子を記録してSNS等で発信したいと考えております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	3	0	11		月に1度防災訓練を実施しておりますので、様子を記録してSNS等で発信したいと考えております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	2		今後も安全には十分に配慮して支援を実施していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	0	4		事故等が発生した場合は、速やかにご利用者様へ報告いたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0	・毎週楽しく通所しています。先生方にも安心感を持って接しています。 ・第2の我が家のように通っている。 ・楽しみや安心感を持って利用できています。 「行きたくない」との言葉が出たことはありません。	安心して自分を表現できる場所としてもご利用いただけるように、事業所を運営して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	0	0	・次回やりたいことなどを決めたり、楽しく前向きに参加しています。 ・疲れた時や落ち込んでいるときは気持ちが乗らないときもあるが、とても楽しみにしている。	楽しんで通って頂けるような工夫を心がけてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	0	0	0	・子どもに寄り添って支援いただいています。 ・いつも満足している。	一人でも多くのご利用者様に満足いただけるよう、質の高い支援と暖かい環境づくりをお約束いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」センター南校				公表日		2025年 2月 15日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お子様の特性や状況に配慮して、居室の使い方を工夫しています。	室内は広々と開放感がある反面、お子様の安全への配慮に一層気を配る必要があると考えております。			
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		保育所等訪問を併設して、包括的にご利用者様をサポートする体制を取っております。	届け出通りの人員配置ではありますが、慌ただしく、増員できるとさらに安全で、ご利用者様により丁寧な関りができると考えます。				
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			よりご利用しやすい環境を整えられるように、さらに工夫を考えていきたいです。				
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日掃除をして清潔を保てるよう努力しています。お子様が集中できる環境や、人的な配置にも気を配っております。					
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		支援室の使い方を工夫したり、配置を考えてクールダウンできるようなスペースも確保しております。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		なるべく多くの職員が参加できるようミーティングをスケジュールしております。	ミーティングの頻度を上げて、より積極的に課題解決を図りたいと思います。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援の都度保護者様とお話する機会を設けており、情報共有やご意向を伺う機会にしています。	気兼ねなくご相談いただける事業所づくりを心がけてまいります。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員ミーティングや個別ミーティングの機会を設けており、よりよい事業所づくりを心がけております。	広く意見を吸い上げられるような、より風通しの良い事業所運営を心がけてまいります。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	内部監査を行っております。	第三者による外部評価も活用できればと考えております。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な内部研修に参加しています。外部研修にも参加できるよう情報収集や業務調整を行っております。	職員から研修について、興味のあるテーマや要望を吸い上げて、実施や参加につなげていきたいと考えております。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	支援プログラムを作成し公表の予定です。	よりよい支援プログラムを考えていきます。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		手順通り適切に個別支援計画を作成しております。適宜見直ししたり、保護者さまとの面談や、通所支援の観察、保育所等訪問支援の観察の様子などから、多角的な視点で計画を作成しております。	今後も質の高い支援を提供できるよう、工夫していきたいと考えております。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		幅広い意見を取り入れるよう心がけております。	今後も様々な視点から計画を作成できるよう努めます。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援が行われております。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメントや観察によって確認しております。	お子様や状況によってアセスメントの頻度を調整していきたいと考えております。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画には、お子様の支援に必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容が設定されております。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		各指導員の背景や資格を活かして活動プログラムを計画しております。チームで決めていく部分と、個々に考える部分もございます。	チームの良さや個々の良さを活かして、利用者様にとってよりよい支援を提供したいと考えてまいります。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	職員が話し合っており、活動プログラムを工夫しております。	お子様によっては固定化がよいケースもありますが、興味や経験が増えるように工夫する必要があると考えております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	状況によっては打合せの時間を取れませんので、連絡方法など工夫して連携しております。	可能な限り事前の打合せを行い、連携して支援を行います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援記録の確認や、共有事項は社内ツールにて情報共有を行える仕組みがございます。	打合せの時間を取ることが難しい状況もあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	丁寧に記録を取り、支援の検証・改善に役立てております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	少なくとも6か月に1度以上計画を見直ししておりますが、必要性に応じて都度最新の情報を反映した計画を作成するよう心がけております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	意識して計画を立て、支援を行っております。地域交流については、間接的な支援となっております。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	自己決定も含めて、生きる力を身につけてられるような支援を心がけております。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	必要に応じて適宜連携できる準備ができています。	セルフプランの方が多く、相談支援事業所との会議を開催することができませんでした。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	訪問支援を行ったり、スクールソーシャルワーカーとの連携を行っております。	様々な社会資源を活用して地域と連携しながら、利用者様をサポートしていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	適宜行っております。	より地域に根差した事業所運営を心がけます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	必要に応じて情報共有を行っております。	より連携を強化して、包括的な支援を強化していきたいと考えております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	対象児の在籍がありませんが、必要性を理解し、準備はできております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		これまで機会はありませんが、ぜひ連携させていただきたいと考えております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	ご要望がございましたら検討いたします。	改めてご利用様のご要望を伺いたいと考えております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	可能な限り参加できるよう調整しております。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	ミーティングの時間やメッセージグループなどで、必要な情報の共有漏れがないよう心がけております。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	外部研修の情報はSNSや室内掲示などでお知らせするようにしております。	支援後の情報共有の時間や家族支援等で保護者さまとお話する機会を設けております。企画、ご提案もしたいと思っております。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	丁寧な説明を心がけております。	ご不明点等ご遠慮なくおっしゃっていただけるよう環境を整えます。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	契約時や個別支援計画を更新する際に、ご意向を伺っております。	いつでもご要望やご意見を伺えるような雰囲気づくりを心がけ、ご利用者様へも説明したいと考えております。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	丁寧な説明を行い、同意いただけるよう心がけております。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援の様子をご覧頂いて説明したり、定期的にお話を伺う機会を設けております。	定期的にお話はできているものの、タイミングにより迅速に対応できないこともあり、複数の職員が対応に当たる必要があると感じております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会を企画し検討段階ではあるものの、実施には至っておりません。	保護者同士の交流や、個別ではなく事業所からの情報をお伝える機会も持ちたいと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご利用者が相談や連携のサービスがご利用いただけることをお伝えしており、私どもから提案させていただくケースもございます。常に家族支援などのご要望に対応できるよう準備をしております。	ご要望がない場合にもご利用者の状況やお困り感を伺える関係性の構築を強化していきたいと考えております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		ブログやインスタグラムを通じて、定期的に情報を発信しております。	内容をより充実させたり、更新頻度を上げるなどして、ご利用者の安心感や満足度の向上につなげていければと考えております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		弊社の取り決めに従って、十分留意して取り扱っております。	研修などに参加したり企画するなどして、情報を更新しながら意識を高めていきたいと考えております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご利用者様お一人お一人に合った情報伝達手段を活用するように心がけております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		通所に関しては秘匿性を重視されるご利用者様もいらっしゃいますので、地域交流などは実施しておりません。	ご要望がございましたら検討いたします。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、周知や研修を実施しております。	家族等に周知して万全な体制を取れるようにいたします。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、必要な訓練を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		お子様の状況は常にお知らせ頂けるように、保護者さまと密にコミュニケーションを取っております。	服薬や予防接種等の状況把握が遅れたりできていない状況もありますので、保護者さまと情報共有する際に、定型的な確認事項として取り入れたいと思います。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		お子様の生活環境を把握するために、契約時に確認しております。	食事やおやつ等の提供はございませんが、配慮すべき事項として認識いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		必要な研修や訓練を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画について周知しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		対策も含めヒヤリハット事例を職員の間で共有して、再発防止に努めるとともに、支援や環境調整などにも活かせるように努めております。	より積極的にヒヤリハット事例を集める努力が必要と考えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のために必要な研修に参加し、虐待防止に向けた対策を話し合っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束の適正化については、こども家庭庁のガイドラインに沿って運営し、必要な場合には必ず個別支援計画に記載するようしております。	これまで身体拘束を適用するケースはありませんが、必要なケースを想定して対応を準備しています。	